

マルヤス岡崎蹴球新聞

発行人
スタジアム芸人
イケザえもん
@ikezaemon01



矢作橋の昇竜

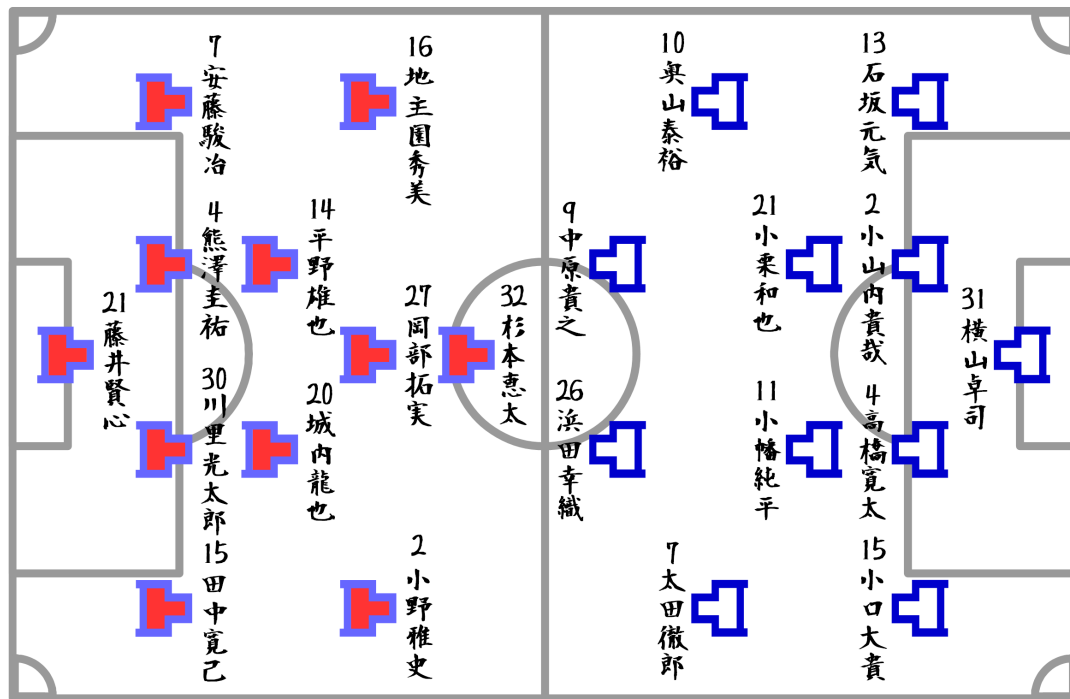
S逆襲のマルヤスS

第20回JFLファーストステージ第3節
FCマルヤス岡崎 対 ラインメール青森



ラインメール青森

【本拠地】陸奥国 青森市【監督】望月達也
【1st・S】0勝2分0敗 勝ち点28位



蹴球合戦 予想布陣図 (FCマルヤス岡崎蔵)

[会場]名古屋市港サッカー場 [ボールパーソン]常滑高校

【試合運営へのご協力を賜り誠にありがとうございます】

勝ちてえよ

勝ち勝てえよ
勝ち勝てえよ
ー今節の展望ー

願離穢土
欣求浄土

春は訪れた。しかし吉報は未だ訪れず。今に見ている。地べたを這い、ドロ水すすってでも上位に進出してやる。前節で久々の敗北を喫したマルヤス。開幕からの2戦は、ともに先制しながら勝ち切ることができなかった。だが、不思議な事に落胆という気持ちがない。手応えはあったのだ。それだけに「エモい！」と言いたくなるような内容を勝利に結び付けて、「今週も勝ち点をドロップドロップ」という事態から脱却しなればならない。

青森は2試合連続の引き分けでスタート。前節はスコアレスドローに終わった。サポーターは「Nice goal.」な得点と白星を求めている。JFLで培った知識と経験を元に得た炸裂弾をお見舞いできるか。ともに勝利のない両者。今日は「ゼッタイカチマスゾイ」と意気込んでいるだろう。港サッカー場で意地と意地がぶつかる今節。熱戦！ご期待ください。

ラインメール青森

チーム紹介

米

青森からJリーグ参入を目指すクラブ。昨シーズンはJFL参戦2年目ながら準優勝という成績を納めた。昨年アウェイの試合で青森県のお米「青天の霹靂」をプレゼントしてくださったので、筆者の母からの評判がすくおぶる良い。今年も是非よろしくお願ひします。

マルヤス時間遡行

創部
五十周年

時は西暦2018年。創部50周年を迎えたFCマルヤス岡崎による新たな戦いが始まった。歴史を塗り替える使命を与えられた選手たちによって励起された企業チーム・FCマルヤス岡崎。これは、そんなマルヤスの50年間に起きた出来事を、少しずつ振り返る物語。

1973年
天皇杯愛知大会優勝

西暦1973年。当時「マルヤス工業サッカー部」として活動していたマルヤスは、第53回の実業杯愛知大会を制覇。創部6年目でのスピード優勝だった。また、同年には愛知社会人リーグへの昇格も決めている。破竹の勢いを誇り、黎明期に燦然と輝く年であった。

同じ年、青森市では「青森県立郷土館」が開館。6つの常設展示室と大ホール、特別展コーナーを有し、温故知新で青森県の未来を考える施設としてスタートを切った。

現在は新館と旧館に合わせて8つの常設展示室と特別展示室(大ホール)を所有。旧館は青森銀行の旧本店であり、建物は国の登録有形文化財に指定されている。館内では、県内に点在する縄文時代の遺跡からの出土品や、郷土の先人である棟方志功、淡谷のり子らの資料を展示。また、第五展示室は「りんごと青森県」と題し、まるごと一部屋りんごに関する展示を行なっている。

郷土館は昨年8月から改修工事のため休館していたが、今年4月1日から営業を再開。つまり来週の日曜日にリニューアルオープンだ。生まれ変わった郷土館で青森の歴史と風土に触れてみよう。

本日のイベント

十三時
試合開始

【フラダンス「ルアナ」
ダンスパフォーマンス】

「1回目」
刻 十二時四五分
於 ピッチサイド

「2回目」
刻 ハーフタイム
於 ピッチサイド

【グッドキッチンフォレスト
出店】
於 スロープ付近
☆今日が初出店です！

【選手とあそぼう企画
トントン相撲対決】
刻 十二時〜十二時五〇分
於 コンコース内

【選手紹介パネル】
於 コンコース内
☆今月のお題は
「俺のここを見てくれ」

【監督・マンオブザマッチ
インタビュー】
刻 試合終了後
於 ピッチサイド
☆マルヤス勝利の場合のみ

【選手・スタッフによる
お見送り】
刻 試合終了五分後から
十分間
於 入場口付近

☆グッズショップには
新グッズが・・・
がつば登場！

次回ホームゲーム 4月8日 日曜日

対 コバルト・レ女川 於 名古屋市港サッカー場

13時 試合開始

公式サイト



Instagram



facebook



公式ブログ



?

Moreira
Leonard

FANTASTIC PLAYER

ONO

MARUYASU